

## 2009 年度 小委員会活動成果報告

(2010 年 02 月 10 日作成)

小委員会名	環境振動評価小委員会	主 査 名：益田 勲 就任年月：2009 年 04 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (環境振動運営委員会)	委員長名：久野 覚 主査名：濱本 卓司
設 置 期 間	2009 年 04 月 ～ 2013 年 03 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境振動にかかわる最新の研究、および実務の動向に関する情報収集や、国際規準(案)にかかわる審議などを行う。</li> <li>・環境振動評価の現状や問題点の把握、および課題の抽出を行い、今後の環境振動評価のあり方を模索するとともに、環境振動に関する性能評価手法の学会会員への普及を図る。</li> </ul>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	益田勲 (日本交通技術)、新藤智 (法政大学)、横山裕 (東京工業大学)、石川孝重 (日本女子大学)、濱本卓司 (東京都市大学)、野田千津子 (日本女子大学)、植松武是 (北海道立北方建築総合研究所)、塚越治夫 (日建設計)、鈴木雅靖 (鹿島建設)、花里利一 (三重大学)、森下真行 (前田建設工業)、内田季延 (飛鳥建設)、小泉達也 (大林組)、川久保政茂 (円石コンサルタント)、松本泰尚 (埼玉大学)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2009 年度予算	40,000 円	ホームページ公開の有無：有り 委員会 HP アドレス： <a href="http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/subcommittee2_performance/AIJ_EVSC2index.html">http://news-sv.aij.or.jp/kankyo/s17/subcommittee2_performance/AIJ_EVSC2index.html</a>

項 目	自己評価
委員会開催数	5 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	1. 国交省住宅局住宅生産課に環境振動の品確法への適用に向けて、歩行加振源と知覚確率からの品確法のアプローチを「要望案」にまとめ提示した。
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 環境振動の品確法適応に向けて、評価機関からの講演者を招き質疑応答の中から品確法への可能性と問題点を抽出できた。 2. 国交省住宅局住宅生産課の討議の中で、品確法への適用には国との意識の隔たりがあるため、今後は学会基準として整備する方向付けをした。 3. 委員から環境振動の評価に係わる課題抽出を行い、3つにグルーピングしそれぞれの討議内容から、今後の環境振動のあり方を模索していくこととした。
委員会活動の問題点・課題	1. 2. 3.

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。